

142掘削用機械を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	12 ～ 13	土砂利採取場所でダンプ運搬をするため、土砂利の積み込み作業をしていた。作業を終えバックホー（1m弱）から降りる際、足場が悪く着地時に足をひねり転倒し、負傷した。	39	2	40301	10 ～ 29 人
2	2018	1	8 ～ 9	外構工事中、ユンボのキャタピラが詰まり、除去しようとして作業しているときに事故を起こしてしまった。運転者はユンボに乗ったまま、作業員が前輪の石を除去し、後輪の石を除去しようとして作業中、運転者が後輪の作業をしていたが、死角になってわからずキャタピラを動かしてしまった。	36	7	30109	1～ 9人
3	2018	1	13 ～ 14	道路工事でバックホウと人力で掘削作業中、エンジンを停止せず下車して重機の横で作業に加わった際、重機が動き出し左足首を重機のキャタピラに挟まれた。重機は無人であったため、走行レバーに手を置いて作業してしまったと思われる。	37	7	30106	1～ 9人
4	2018	1	15 ～ 16	現場資材置き場内にて、バックホウで歩車道ブロックをユニック車に積み込み作業中、ブロックをワイヤーから外す際、ダンプアオリ部分にワイヤーが引っ掛かる。被災者が様子を確認するため、ダンプ外側から荷台に顔を入れた際、同時にバックホウのバケットが動き、頭部をバケット部とトラックのアオリの間に挟まれた。	63	6	30106	1～ 9人
5	2018	1	14 ～	厨房でキャベツをスライサーで切っていたときに、誤って右薬指を切った。	60	7	30199	1～ 9人

			15						
6	2018	1	16 ～ 17	開発行為により造成工事の擁壁裏盛り土作業中に、0.2ユンボによる整地作業のとき、前進による整地の後、後退する際、後方確認を怠って、後ろを横切るマインに気がつかず、足を踏んでしまった。	32	7	30109		30 ～ 49 人
7	2018	2	15 ～ 16	資材置き場にてダンプから荷物の積み下ろしをするため荷台の上で作業中、バックホーのバケットが右足にぶつかって負傷した。	33	6	30309		1～ 9人
8	2018	2	8 ～ 9	ユンボでガラ積み込みをしていた際、スライドアームを警報器を鳴らしながら降ろしたときに、下部にいたミニユンボのキャビンを押してしまい、ミニユンボのオペレーターが負傷した。	67	6	30201		1～ 9人
9	2018	2	14 ～ 15	法肩でバックホウを使い伐採後の除根作業中、重機が斜面を5mほど滑り落ち、横転した際に背中を打った。	66	1	30199		1～ 9人
10	2018	2	8 ～ 9	河川の現場に建設機械を2機搬入していたところ、保護のために敷いていたゴム板が下の方に滑り大型機のバケットが小型機の操縦席前部に接触、小型機の操縦者が床に滑り落ち腰部を強打した。	73	3	30108		1～ 9人
11	2018	2	16 ～ 17	山林内でドラグショベルを使い水平整地の作業中、バケットに土を積んで旋回したところ、バランスを崩して安全レバーに躓き、ドラグショベルから10m下の山林に転落した。	68	1	60201		1～ 9人
12	2018	3	13 ～ 14	2号バースで荷役作業終了後、船内で作業していた重機をクレーンで岸壁に降ろしてもらい、クレーンのフックから重機を吊り下げるスリングを外すため重機に上がり、体の向きを変えようとした。その際、足元をよく見ておらず排気管（マフラー）につまずいてバランスを崩し約230m下の地下に落下した。	71	1	50202		1～ 9人
13	2018	3	9 ～	ミニバックホーを台車に載せるとき、中心が後方に傾いたため、転倒してしまった。そのとき、ミニバックホーのドアの扉に左足を	63	2	30109		10 ～

			10	挟み、左足スネを負傷した。				29 人
14	2018	3	8 ～ 9	造成現場内にて、バックホウのキャタピラ部に着いた土を清掃していたが、ほぼ清掃が完了したとき、少しの泥を素手（軍手着用）ではらおうとしたとき、終わったと思ったバックホウ運転手が動かしたキャタピラに指を挟まれ、右手指を切断した。	63	7	30109	10 ～ 29 人
15	2018	3	8 ～ 9	除雪の作業をするために、バックホウの運転室のドアを開けようと高さ50cmのキャタピラに上がろうとした際、キャタピラが濡れていたため、上がろうと踏ん張った足が滑り、前傾姿勢で倒れ込み、キャタピラに腹部を打ち負傷した。	73	3	30106	10 ～ 29 人
16	2018	3	11 ～ 12	工場にて物置を造る作業中に廃材をフレコンの袋に詰めて重機のバケットを吊り上げていたときに袋の引っかける場所と、バケットのアタッチメントの間に右手の甲を挟んで負傷した。	36	7	30309	1～ 9人
17	2018	3	13 ～ 14	コンボのバケット交換作業中、ブームとバケットの間に左手人差し指を挟み骨折した。	54	7	30199	1～ 9人
18	2018	3	9 ～ 10	工場内、油圧掘削機の排土板取り付け作業中、支えていた油圧ジャッキが外れたため、排土板とパレットの間に手を挟まれ左手中指、薬指、小指を受傷した。	59	7	80109	10 ～ 29 人
19	2018	3	14 ～ 15	建物解体現場にて、建築廃材（石膏ボード）を入れたフレコンバッグを同僚が重機（バックホウ）で移動させるため、巾着式の帯を重機のショベルにかける作業後、指を抜くのが遅れ重機が帯を引いたため、帯とフレコンバッグの間に挟まり左示指を負傷した。	34	7	30309	1～ 9人
20	2018	3	12 ～ 13	重機置き場にて、高さ約3Mの重機の屋根に上がり脱落した部分を取り付け作業中、バールで捏ねた際、はずみでバランスを崩し、重機の屋根より飛び降り着地した衝撃で両足踵を骨折した。	55	3	80409	50 ～ 99 人

21	2018	4	9 ～ 10	<p>自社資材置き場で、大型土のうの配置換え作業の手元をしていたときに、吊り上げ動作に入った大型土のうの吊り手部を再度握ってしまい、右手人差し指と中指の爪が割れた。</p>	20	7	80409	10 ～ 29 人
22	2018	4	11 ～ 12	<p>ショベルカーのメンテナンスをしている際に、エンジン（キャビン）の上でグリスポンプ中にバランスを崩して下に落下して左手首を負傷した。</p>	41	1	80409	50 ～ 99 人
23	2018	4	13 ～ 14	<p>ステコンクリート不足分のコンクリート打設作業中、ミニパワーシャベルにて生コンポッパーで打設しようとしていた。他工員のパワーシャベルが邪魔で、吊荷をしたままの状態運転席を離れた。しばらくしてミニパワーシャベルの足下の掘削法面が壊れ、付近にいた被災者が逃げようとしたが、パワーシャベルと一緒にGL2,200の掘削面に転落した。</p>	23	1	30201	1～ 9人
24	2018	4	16 ～ 17	<p>現場資材ヤード（縦30cm×横20cm）でバックホウバケット交換中、ブームとバケットを合わせるピンを挿入していたときの調整時、自分の想定以上にバケットが動いた。バケットを鉄製棒でこねていた所、思いの外、バケットが動いてバケットソース（爪）の部分が右足に落ちた。</p>	62	6	30107	—
25	2018	4	11 ～ 12	<p>敷地内で、車輪の整備点検の作業をしていたところ、ミニバックホー（土砂を送ったりする機械）のバケット（ショベル）の端に足が掛かりつまずいてしまい転倒し、負傷した。</p>	60	2	40309	1～ 9人
26	2018	5	16 ～ 17	<p>作業現場内でフレコンバックの移動作業中に、フレコンバックフックバンドを重機のピラニアバケットにかけている際、重機の運転手がピラニアバケットを閉じてしまったため、右手の甲を挟まれてしまった。</p>	47	7	30209	1～ 9人
			13	<p>駐車場工事現場で使用するミニショベルを回送車に積んでいた。</p>				

27	2018	5	～ 14	前向きでわたり板を登り、回送車の荷台上で180度旋回したとき、バランスを崩してミニショベルの運転席（床から高さ1m）からコンクリート地面へ転落し、腰部を打ちつけ負傷した。	71	1	30199	1～ 9人
28	2018	5	9 ～ 10	解体作業中、重機オペに指示を出していたところ、崩れてきた畳1畳ほどのモルタルが地上で弾んで両足に当たり負傷する。	55	4	30201	10 ～ 29 人
29	2018	5	17 ～ 18	現場でバックホウを2tダンプトラックに積みリース会社へ向かって走行中、バックホウのアームが接触しバックホウが地面にズレ落ちた反動で、2tダンプトラックの前方がバウンドした際、胸椎を負傷した。	68	6	30201	1～ 9人
30	2018	5	16 ～ 17	石場内の運搬用斜路をミニパワーシャベルに乗り下っていたところ、路面の石で機体のバランスを崩して上下に大きく揺れたため転倒の危険を感じて飛び降りた際に、右足首を外側にひねり右足首踝の一部骨折した。	48	3	20201	—
31	2018	5	13 ～ 14	バックホー操作中に、段差でバックホーが揺れてドアが閉まり、指を挟んで負傷した。	46	7	30201	1～ 9人
32	2018	5	8 ～ 9	バックホウに乗ろうとして、キャタピラーに足を掛けたら、滑って運転席の後部で右脇腹を打撲した。	66	3	30202	1～ 9人
33	2018	6	15 ～ 16	舗装工事中、4tダンプ荷台にある合材（アスファルト）をバックホーで前後に動きながら取り分けていたとき、ダンプと接触しそうになったためバックしたが、後方確認ミスにより、後方で敷均し作業中の被災者に接触した。	25	6	30109	10 ～ 29 人
34	2018	6	15 ～	2tダンプ荷台に乗り、積んであった碎石をユンボのバケットに積み替えていた。そのとき、別の作業員が誤ってユンボを旋回させ、右足に当たってトラックのアオりに挟まれた。そのはずみでト	53	7	30301	1～ 9人

42	2018	7	9 ～ 10	工場増築現場にて、溜枙と塩ビ管の接続時に溜枙の穴より塩ビ管が勢いよく飛び出してきたため、枙の中に入れていた右手が反対側の枙の内壁と塩ビ管の間に挟まり負傷した。	62	7	30201	～ 99 人
43	2018	8	11 ～ 12	工場内に止めてあるタイヤショベルに工具を取りに行き降車した際、勢いよく左手でドアを閉めたときに、右手側で押さえていた親指部分を挟んで負傷した。	34	7	80109	1～ 9人
44	2018	8	9 ～ 10	コンクリート・アスファルトの破碎現場で、ショベルユンボのオペレーター補助を行っていて、アタッチメント交換作業中に体をひねり、捻挫した。	43	19	170201	10 ～ 29 人
45	2018	8	16 ～ 17	荷物の入ったフレコンバックの紐をバックホーのツメ部分にかける作業中に、右腕がバックホーアタッチメント中に腕が残っている状態でアタッチメントを締めてしまい右腕を挟み込み、右前腕部を骨折した。	61	7	150109	10 ～ 29 人
46	2018	8	14 ～ 15	建築廃材の選別作業をしているときに、重機が近くで動いている状態で、重機に轢かれて、出血多量で亡くなった。	49	6	170101	1～ 9人
47	2018	8	8 ～ 9	ユンボバケットの中のガラを集積するため、オペレーターがバケットを振動させていたとき、旋回範囲内に入って鉄パイプをバケットに積み込もうとしたところ、鉄パイプを握っていた右手小指をバケットに挟んで負傷した。	61	7	30201	30 ～ 49 人
48	2018	8	9 ～ 10	解体作業にてバックホー（重機）の補助作業を行っていたが、重機先端のバケットが接触し、その際に転倒し既存基礎に腰部分を強打ち被災した。	61	6	30209	1～ 9人
49	2018	9	10 ～ 11	産業廃棄物の積込作業中、重機のアタッチメントを交換する作業をしていた際、穴を合わせる微動調整をしている最中に鉄製のピンを挿入したため、振動でピンが飛来し、右目まぶたに当たって裂傷を	25	4	150102	10 ～ 29

				負った。					人
50	2018	9	16 ～ 17	側溝に落ちた物を拾おうとして手を伸ばしたところ、そばでユンボが動いていると気付かず、動いてきたユンボと側溝の間で腕を挟んだ。	36	7	30199		1～ 9人
51	2018	9	15 ～ 16	倉庫敷地内で水道資材の片付け中、ミニバックフォア（重機）がバックしていることに気付かず、ゴムキャタピラに左足が接触して打撲した。	71	6	30203		1～ 9人
52	2018	9	5 ～ 6	社内駐車場にてユニック車車載のバックホウにより、転圧機を吊り上げユニック車へ積み込み作業中、車載バックホウに乗り込もうとした際、作業衣左下部が操作レバーに引っ掛かってバックホウアームが動作し、右旋回動作するアームと駐車中の車の間に挟まれて腹部を圧迫された。	72	7	30301		1～ 9人
53	2018	9	13 ～ 14	配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダンブで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンブと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	30110		1～ 9人
54	2018	9	16 ～ 17	小型ミニ油圧ショベル不具合修理で、本体とフロント作業機との連結部結合作業中、下側連結ピンを挿入しようとしたがピン穴が合わず、一旦ピンを下に下ろそうとした際、手が滑りピンの下部に設置していたジャッキとの間に左手が挟まり受傷した。	65	7	11301		—
55	2018	9	10 ～ 11	産業廃棄物の積込作業中、重機のアタッチメントを交換する作業をしていた際、穴を合わせる微動調整をしている最中に鉄製のピンを挿入したため、振動でピンが飛来し、右目まぶたに当たって裂傷を負った。	25	4	150102		10 ～ 29 人
56	2018	9	16 ～ 17	側溝に落ちた物を拾おうとして手を伸ばしたところ、そばでユンボが動いていると気付かず、動いてきたユンボと側溝の間で腕を挟んだ。	36	7	30199		1～ 9人

57	2018	9	15 ～ 16	倉庫敷地内で水道資材の片付け中、ミニバックフォア（重機）がバックしていることに気付かず、ゴムキャタピラに左足が接触して打撲した。	71	6	30203	1～ 9人
58	2018	9	5 ～ 6	社内駐車場でユニック車車載のバックホウにより、転圧機を吊り上げユニック車へ積み込み作業中、車載バックホウに乗り込もうとした際、作業衣左下部が操作レバーに引っ掛かってバックホウアームが動作し、右旋回動作するアームと駐車中の車の間に挟まれて腹部を圧迫された。	72	7	30301	1～ 9人
59	2018	9	13 ～ 14	配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダンブで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンブと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	30110	1～ 9人
60	2018	9	16 ～ 17	小型ミニ油圧ショベル不具合修理で、本体とフロント作業機との連結部結合作業中、下側連結ピンを挿入しようとしたがピン穴が合わず、一旦ピンを下に下ろそうとした際、手が滑りピンの下部に設置していたジャッキとの間に左手が挟まり受傷した。	65	7	11301	—
61	2018	9	10 ～ 11	産業廃棄物の積込作業中、重機のアタッチメントを交換する作業をしていた際、穴を合わせる微動調整をしている最中に鉄製のピンを挿入したため、振動でピンが飛来し、右目まぶたに当たって裂傷を負った。	25	4	150102	10 ～ 29 人
62	2018	9	16 ～ 17	側溝に落ちた物を拾おうとして手を伸ばしたところ、そばでユンボが動いていると気付かず、動いてきたユンボと側溝の間で腕を挟んだ。	36	7	30199	1～ 9人
63	2018	9	15 ～ 16	倉庫敷地内で水道資材の片付け中、ミニバックフォア（重機）がバックしていることに気付かず、ゴムキャタピラに左足が接触して打撲した。	71	6	30203	1～ 9人

64	2018	9	5 ～ 6	社内駐車場でユニック車車載のバックホウにより、転圧機を吊り上げユニック車へ積み込み作業中、車載バックホウに乗り込もうとした際、作業衣左下部が操作レバーに引っ掛かってバックホウアームが動作し、右旋回動作するアームと駐車中の車の間に挟まれて腹部を圧迫された。	72	7	30301	1～ 9人
65	2018	9	13 ～ 14	配水管布設替工事において、鉄管を掘削孔に布設するため、ユンボで吊り上げようとした。その際、吊り上げ帯と鉄管が垂直ではなかったため修正するため、オペレーターに停止の合図をしたがダンプで死角になっており、そのまま吊り上がり、鉄管が迫ってきてダンプと鉄管の間に足が挟まり、転倒して負傷した。	27	7	30110	1～ 9人
66	2018	9	16 ～ 17	小型ミニ油圧ショベル不具合修理で、本体とフロント作業機との連結部結合作業中、下側連結ピンを挿入しようとしたがピン穴が合わず、一旦ピンを下に下ろそうとした際、手が滑りピンの下部に設置していたジャッキとの間に左手が挟まり受傷した。	65	7	11301	—
67	2018	9	10 ～ 11	舗装工事の現場内をホウキで清掃中、後方へ移動した際に、バックホウのキャタピラに足が接触し、両足を轆かれた。	59	3	30106	1～ 9人
68	2018	9	10 ～ 11	敷地内から公道に出て、重機をコンテナに積み込むとき、重機の操作ミスにより誘導員の右足を踏んでしまった。	77	6	30209	1～ 9人
69	2018	9	15 ～ 16	スキー場内で作業中の乗用草刈機がU字溝にはまってキャタピラが外れ、それを引きずり出すため油圧ショベルで引いたところ、足場が脆弱で油圧ショベルが転倒し、油圧ショベルの機体に接触して擦過傷を負った。	26	2	140101	100 ～ 299 人
70	2018	9	15 ～ 16	建設現場にて、ユンボの運転者は左右とミラーで後方を確認してバックで発進したところ、ユンボが近づいてきたことに気付かず、接触して右足をキャタピラに踏まれて負傷した。	45	7	170201	10 ～ 29 人

71	2018	9	11 ～ 12	土を取るための道をパワーショベルで作るために登っているとき、パワーショベルが傾き慌てて飛び降りたが着地に失敗し、斜面を転げ落ちて左側頭部裂傷、左足第1指粉碎骨折、全身打撲を負った。	57	3	30199	10 ～ 29 人
72	2018	9	16 ～ 17	下水道工事現場で、敷設用鉄板をバックホウを用いて作業中、障害物（植木）と吊り荷が接触し、吊り荷が近くに停めてあった工事車両に接触しそうになったため、それを防ごうと吊り荷を掴んだ瞬間、車両と鉄板の間に左手第2指を挟んだ。	20	7	30110	—
73	2018	9	10 ～ 11	舗装工事の現場内をホウキで清掃中、後方へ移動した際に、バックホウのキャタピラに足が接触し、両足を轢かれた。	59	3	30106	1～ 9人
74	2018	10	13 ～ 14	マンション外構工事中、駐車場内アスファルト下地の碎石を、0.15?バックホウの排土板で前進と後退を繰り返して敷均しをしていたとき、バックホウの右後方にいた作業員の右足が、右キャタピラ（ゴム製）に巻き込まれた。	28	7	30201	1～ 9人
75	2018	10	14 ～ 15	バックホーを洗浄中、キャタピラに足を掛けたところ滑って転落し、左肘を骨折した。	44	1	170209	1～ 9人
76	2018	10	14 ～ 15	別の労働者が運転するユンボがバックしたとき、後方を通過した被災者がユンボに押されて転倒し、右足がユンボの下敷きになった。	69	7	130109	10 ～ 29 人
77	2018	10	8 ～ 9	倉庫敷地内でユンボを使って廃材をトラックに積み込む際、ユンボのバケットからこぼれ落ちた鉄屑が頭部に当たり、左額に裂傷を負った。	34	4	30209	1～ 9人
78	2018	10	～	13 資材置き場で、被災者が手作業で碎石の山を整理していたとき、重機作業者が周辺の確認を怠り、重機のバケット部分が被災者の後頭	40	6	30309	30 ～

86	2018	11	16 ～ 17	バックホウを使用して杭を引き抜く際、杭に取り付けていたクランプとバケットの間に右手中指を挟み切断した。	69	7	30109	30 ～ 49 人
87	2018	12	15 ～ 16	原石場で埋め戻し作業中、地滑りがおこり、重機とともに落下し横転した。その際、右足首を骨折した。	64	1	40301	10 ～ 29 人
88	2018	12	13 ～ 14	基地局棟を解体している現場で、トンパックに入れた解体材をコンマ2のピラニアバケットで挟んで移動しようとした。重機オペレーターと作業員の合図の確認不足により、ピラニアバケットに右手親指の先が巻き込まれ、骨折した。	64	7	30201	10 ～ 29 人
89	2018	12	16 ～ 17	リサイクルセンター内の屋外選別場で、ハサミ付きコンボで作業が行われている近くに被災者が立っていた。コンボの運転手が次動作の合図のつもりで、コンボのハサミを被災者の頭上50cmくらいに移動させ、左側に置いてあったフレコンパックを挟んで動かそうとしたところ、たまたま被災者が上に伸ばした両腕と接触し、両手首が折れた。	64	6	150102	30 ～ 49 人
90	2018	12	9 ～ 10	年末大掃除のため、片付けの掃除中キャビンから降りる際、キャタピラの上に載っていた雪に足を取られ約80cm下に落下し、腰を打ち右背部を負傷した。	64	1	30106	30 ～ 49 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。